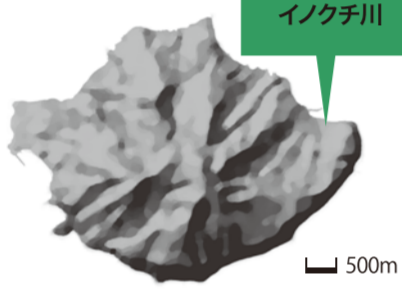


4



大里地区九〇代男性

「昔の舟は単純で、削った木に帆をかけた『でいた』という転覆防止の板をつけ、竹の棒先で弾いて操舵しました。男の子なので他の舟にぶつけあうこともありましたが。転覆したり一番になれなくて泣く子もいました。また親類の多い子は餅の重さが不利で、親戚ごとに餅を一旦積んでは下ろし、舟に積んだ体裁にして量を調整していました。子供なりに大人を気遣ったようです」

思い出話

「左写真」南日本新聞提供

舟浮かし

大里

大里にあった旧暦三月節句の行事。その日、四歳以下の男の子は川を堰き止めて作る大きな水たまりに、舟を走らせて競う。舟は父親がつくり、それに親族のくれた餅を積む。堰は海の手前につくる。子供達が海岸で集めた丸石を大人が積み上げ、隙間にカヤを詰めて水どめをする。このカヤは柔らかく、半年前に十五夜の綱引きで作った綱のカヤを使う。右下は二面丸石だった海岸の様子。なお、川は大半が埋め立てられ、今は見下ろす位置にある。

日	月	火	水	木	金	土
31	1 ● 旧 2/26	2 ● 旧 2/27	3 ● 旧 2/28	4 ● 旧 2/29	5 ● 新月 旧 3/1	6 ● 旧 3/2
7 ● 旧 3/3	8 ● 旧 3/4	9 ● 旧 3/5	10 ● 旧 3/6	11 ● 旧 3/7	12 ● 旧 3/8	13 ● 上弦 旧 3/9
14 ○ 旧 3/10	15 ○ 旧 3/11	16 ○ 旧 3/12	17 ○ 旧 3/13	18 ○ 旧 3/14	19 ○ 満月 旧 3/15	20 ○ 旧 3/16
21 ○ 旧 3/17	22 ○ 旧 3/18	23 ○ 旧 3/19	24 ○ 旧 3/20	25 ● 旧 3/21	26 ● 旧 3/22	27 ● 下弦 旧 3/23
28 ● 旧 3/24	29 ● 昭和の日 旧 3/25	30 ● 退位の日 旧 3/26	1	2	3	4